

# めむろ 社 懐 だより

毎月1回発行  
9月号 No. 244

平成19年9月12日発行  
社会福祉法人芽室町社会福祉協議会  
東4条4丁目 TEL(62)1616・FAX(62)1657

今年も天候に恵まれた

## ふれあい交流まつり



プログラムに欠かすことのできない合同演奏

8月26日(日)芽室町健康プラザを会場に「ふれあい交流まつり2007」を盛大に開催しました。この日は、最高気温が30度を超え真夏を思わせる天候となりましたが、澄んだ青空の下、今年も町内外から1,000名を超える人たちが来場されました。

このまつりは、町内の福祉団体や関係諸団体など24団体からなる実行委員会(小林覚委員長・柏の里めむろ保護者会)が主管し、4月から準備を進めてきました。

同実行委員会は、創造性のあるまつりづくりを

目指しており、今年も4部門(ステージ、交流、屋台、体験展示販売)から30のプログラムが企画され、それぞれのブースに親子連れなど多くの人たちが参加し、思い思いのひと時を楽しみました。

ステージ発表では、芽室中学校と芽室西中学校の吹奏楽部による合同演奏が披露され、80名を超える迫力あるサウンドが聴衆を魅了し、さらに、両校の生徒同士がお互いに「頑張ろう!」と励ましあっている光景もみられ、両校もふれあいを深めていました。

### 【お知らせ】

ふれあい交流まつり会場内での落し物(財布、帽子、タオル類等)を多数預かっていますので、お心当たりの方は社会福祉協議会までご連絡下さい。

## 今年のふれあい交流まつりをふり返って

### 外出困難者への支援活動

昨年から外出困難者へのまつり参加の支援活動を展開していますが、今年は4名の高齢者より利用申込があり、支援スタッフの介助のもと、まつりを堪能されました。参加した戸田せつさん(一心町)は、「人が大勢集まる場所に行く機会はもうないと思っていた。私のために協力してくれた人々に感謝しています。」と、話してくれました。



メイク教室でマニキュアを塗ってもらう戸田さん

### 高校生ボランティアがまつりを支える

実行委員会とは別に、芽室高校と白樺学園高校の生徒15名がボランティアとして参加し、着ぐるみを着用してのプログラム紹介や託児、作業所製品販売など高校生らしい爽やかな活動で、まつりを支えてくれました。終了後、多くの生徒が「普段経験できない活動が出来た。」と、達成感に満ちた表情で感想を話してくれました。



来場者に明るく声を掛け、パンフレットを手渡す白樺学園高校生

### 支援の輪が地域にも広がる

13の企業・事業所より提供された品物を販売するチャリティーオークションでは、今年も威勢のいい掛け声のもと、商品券や自社製品などが次々とオークションにかけられ、売上金の全額42,250円が西土狩の知的障がい者通所授産施設オークルを運営する社会福祉法人柏の里めむろ(山本孝二理事長)に寄贈されました。

また、芽室町商工会青年部(明瀬健太郎部長)も特別協賛として焼きそばを販売し、売上金の全額26,300円を同じく同法人に寄贈しました。



古川誠オークル施設長に売上金を寄贈する商工会青年部

### 《チャリティーオークションにご協力をいただいた企業・事業所》

日本罐詰株式会社、日本甜菜製糖株式会社芽室製糖所、温泉ホテル川北、国民宿舎新嵐山荘、まさおか菓子店、平和園大成店、カルビーポテト株式会社北海道事業本部、あかずきん、米澤通商株式会社、丸富士三浦建設株式会社、JAめむろ、北海道クノール食品株式会社、ファーマーズマーケット愛菜屋 (敬称略・順不同)

### 来場者のアンケートから

- ・イベントとしてのまとまりがなく、バラバラな感じがする。(男性・40代)
- ・地域の色々な立場の人が協力しあって、自然に交流をしていた。(女性・30代)
- ・屋台コーナーが全て100円というのが、本州から来た私には大変な驚きです。散歩がてら様子を見ることができるといいです。(女性・40代)

### これからふれあい交流まつりが目指すもの

心身にハンディのある人との交流をとおして町内の障がい者福祉活動に関心を深めてもらい、障がい者への「社会参加と自立」に対する支援の輪を広げていくことを目的とした「ふれあい交流まつり」は、今年で15回目を迎えました。

この目的に加え、昨年からは外出が困難な人にもまつりに参加してもらえる支援活動を行いました。その体制強化が今後求められます。町内には様々な「まつり」

がありますが、身体が不自由で、遠巻きでまつりの様子をうかがうことしか出来ない人が多数いらっしゃいます。そうした人たちの要望実現のために、地域で共に暮らす人々が様々な関わりのなかで協力しあい、そしてみんなで楽しめる「まつり」づくりを目指していきたいと考えておりますので、今後も町民皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。